

## 松田康裕

1974年(昭和49年)釧路市生まれ

職名:

看護師、介護支援専門員(ケアマネージャー)

職歴:

1996年(平成8年)八戸看護専門学校(青森県八戸市)卒業  
クラーク病院(札幌)勤務、釧路労災病院(釧路)勤務で看護師として勤務後に複数の介護施設の開設および管理者として施設運営に携わる。



活動歴:

### 1) 東日本大震災

2011年(平成23年)東日本大震災発災後に、及川欧医師と共に復興支援活動を3年半継続した。その際に、薬剤師の嶋村理恵子氏との交流も始まり、震災後5年、10年、そして今回の15年に「われわれは何を東日本大震災から学ぶのか」をテーマに文化講演等の活動を継続中。

### 2) 東京2020

BMX(自転車競技)の医療スタッフとして、及川欧医師と共に東京2020に参加した。本当の理由は、2032年に予定されていた札幌オリンピックの開催の際に後輩たちの育成をするため、まずは現場の活動内容を学ぶためであった。実際には、少し先にずれることになるが、必ずまた北海道が国際スポーツ競技の開催母体として活動する舞台が出来上がると信じており、最近では及川医師とトレイルラン競技(大雪山トレイルジャーニー)の医療救護を実践している。

### 3) PUSH 北海道

突然死を予防するため、AED使用と心肺蘇生法の教育指導者として、日々スポーツ現場や教育現場で指導を行っている。